宮城大学 後援会報 Vol.57

発行
令和3年8月31日

発行者
〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL022(377)8381

編集
宮城大学後援会事務局

コロナ禍でも主催事業開催に向けて

令和3年度宮城大学後援会総会は、4月18日(日)宮城大学大和キャンパス講堂で行われ、会長に関孝工氏が再選されました。

後援会会長　関　孝工

会員の皆様におかれましては日頃より後援会活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。昨年度に引き続き今年度も後援会会長を務めさせていただくこととなりました。コロナ禍での後援会運営も2年目となりますが、昨年度は総会はもとより計画されていたほとんどの事業が開催できなかったという、かつてない事態となり、我々後援会役員もたいへん悔しい思いをしてきました。

今年度も厳しい状況は続いておりますが、学内ではウィズコロナの生活様式や感染対策の徹底により徐々に日常が戻ってきており、後援会としてもそのような環境下で、出来ることを少しずつ進めていこうと考えております。

▲会長あいさつと新役員

手始めに昨年開催がかなわなかった総会について、今年は大学側の感染対策コードを遵守し何とか開催することができました。様々な制約下での開催でしたが、会員の方々にリアルに参加頂き新役員のお披露目もできたことは大変良かったと思っています。

引き続き、定例事業のサポーターズデイや秋に開催予定の有森裕子氏の講演会などに関しても、総会開催のノウハウを生かし開催する方向で検討して参ります。

宮城大学後援会は、1997年の開学の翌年に発足し大学の歴史とともに歩んで参りました。この間、会員と大学との連携を図り教育事業や福利厚生などの協力援助をするとともに、併せて大学の発展向上に寄与することを目的として活動を続け、今年度で24年目となります。また、前述した著名人による講演会などには地域の皆様にもご参加頂き、大学の知名度向上にも取り組んでおります。

会員の皆様におかれましては、コロナ禍という状況下ではありますが、様々なご提案やご意見を頂戴できれば幸甚です。今後、後援会としてはウィズコロナでの活動はもちろんですが、アフターコロナも見据えた事業計画を検討していきたいと考えておりますので引き続きご支援頂きたくお願い申し上げます。

最後に、コロナ禍が一刻も早く終息し、会員の皆様や学生諸君と何ら制限を受けることなく交流できるようになることを祈念し、新年度のご挨拶とさせて頂きます。

令和3年度　後援会役員

1年間どうぞよろしくお願いします

（敬称略）

役職	氏名
会長	関　孝工
副会長	遠藤雄二
〃	小林英樹
〃	吉田和美
理事	安住ふみ子
〃	石塚雄一
〃	遠藤美千代
〃	大野健一
〃	尾形文男
〃	佐竹加代子
〃	鈴木　誠
〃	髙橋明子
〃	髙橋かおり
〃	田口　恵
〃	武田篤彦
〃	長岡勢子
〃	宮永紀子
監事	佐藤功太郎
〃	下山晴朗
〃	千葉清純

記事一覧

2面●学長あいさつ
3面●入学式／入学者選抜試験実施状況／入学記念事業／後援会総会決議事項
4面●卒業式／学生表彰／進路状況／卒業記念事業
5面●学びの成果／若者の消費者トラブル
6面●こびっと隊
7面●コラム／絆
8面●キャンパスカレンダー／教員からの一言／講演会／お問い合わせ先

感染対策を万全に、大学改革の歩みはとめない

公立大学法人宮城大学理事長兼学長　川上 伸昭

新型コロナウイルス感染症は今年度も止むことなく猛威を振るっています。それに伴いあらゆる社会活動において様々な制約の継続も余儀なくされています。後援会の皆様には、このような困難の時の中にあっても大学の活動にご理解をいただき、ご支援をいただいておりますこと、御礼を申し上げます。

昨年は、緊急事態宣言を受けて前期の授業を遠隔方式により行いましたが、同時に、対面による活動を可能にするために、三密回避のための施設整備や入館時の体調確認などの環境整備を実施し、後期は平均して6割の授業を対面に戻して実施しました。さらに、今年度前期については、大和キャンパスの講堂を教室に転用することによりすべての授業を対面で実施できる教室数を確保し、全学において原則として対面による授業を実施してまいりました。

この感染症は、無症状でも感染力を持つという特徴があります。このため、感染を確認してから対応を開始したのでは感染の伝播を止めることができない場合が起こり得ます。このため、学生さんに協力していただき、風邪症状の発現や、濃厚接触者または検査対象者と濃厚接触をした疑いがある段階から大学への連絡および登校を控えていただくという対応をしていただいています。このようにして、大学が感染伝播の場にならないよう最善を尽くしてきています。感染のご心配はあるものと思いますが、ご理解を賜りますようお願いいたします。

感染症の拡大防止に対してワクチン接種は大きな効果を持つものです。全国で医療関係者や高齢者からの接種が進んでいます。接種場所も次々に拡大してきておりますが、本学としても学生さんが円滑に接種を受けられるよう、東北大学の大学拠点接種を利用した接種機会を提供しています。ご家庭においても、ワクチン接種についてお話していただき、ワクチンへの理解を深めていただきますようお願いいたします。

コロナとの戦いに足を取られているからと、大学の改革に手をこまねいては居られません。昨年は大和キャンパスでデザイン研究棟が竣工し、新たな活動が開始されました。これに限らず、今年度から始まった第三期の中期計画にも教育の機能強化に向けた方針を明記し取り組みを開始しています。しっかりと大学機能の改善に取り組んでいきますので、後援会の皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

「第三期中期計画」の詳しい内容は、大学ウェブサイトの「大学について」からご覧ください。

令和２年度　事業報告

	内　容
総会	総会に代わり、 ４月29日～５月12日まで議案をウエブサイトに掲載し、会員の皆様から質疑を受け付けました。議案に対して質問、異議などがございませんでしたので、議案の通り可決したものとみなしました。
理事会 *1	理事会６回と臨時理事会１回
その他の会議 *1	会長副会長会議　５回
学生会活動助成 *2	サークル（連盟加盟費などを助成）
支援事業 *3	資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品（校章ピンバッジ）贈呈
卒業記念事業	卒業生（学群生）へ記念品（浸透印とボールペン）を贈呈
主催事業 *4	ＭＹＵサポーターズデイ（オンライン配信） 講演会（令和３年度に延期）
終身会員の集い *4	中止
会報発行	第55号・第56号

令和２年度　一般会計決算

	項　目	決　算　額	備　考
収入	会費	17,960,000	新入生・終身会員
	繰越金	5,288,131	
	計	23,248,131	
支出	事務費	2,583,909	人件費、通信費等
	会議費	173,192	理事会費用弁償費等
	事業費	4,676,039	進路対策費等
	入学記念事業費	381,530	校章ピンバッジ
	卒業記念積立金	2,230,000	卒業生記念品
	記念事業等積立金	2,500,000	
	予備費	399,250	
	計	12,943,920	

*1：感染対策を講じながら事業の企画・運営を行いました。
*2：学生会活動については、感染症拡大防止のため活動制限や大学祭の中止などがあり、例年通りの支援が行えませんでした。
*3：支援事業については、例年通りの助成を行いました。
*4：主催事業については、オンライン配信により大学からのお知らせなどをお伝えした一方で、講演会や終身会員の集いなどは感染防止のため中止いたしました。

令和２年度　特別会計決算

（卒業記念事業積立金）

	項　目	決　算　額	備　考
収入	積立金	2,230,000	入学生446人×5,000円（一般会計より）
	繰越金	7,525,294	
	計	9,755,294	
支出	事業費	1,518,220	学生への記念品
	卒業記念事業積立金	8,237,074	
	計	9,755,294	

（記念事業等積立金）

	項　目	決　算　額	備　考
収入	積立金	2,500,000	一般会計より
	繰越金	10,123,335	
	計	12,623,335	
支出	事業費	0	
	事務費	21,483	通信費（終身会員の集い中止のお知らせ）
	記念事業等積立金	12,601,852	
	計	12,623,335	

令和３年度宮城大学入学式

４月３日、令和３年度宮城大学入学式が大和キャンパス講堂にて行われました。式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、式典の参加は新入生と来賓のみとし、学群・研究科により時間帯を分けた２部構成で実施されました。式典の様子は、来場できないご家族向けに、インターネットで同時配信されました。

今年度の入学生は、看護学群１０１人、事業構想学群２１５人、食産業学群１３７人、看護学研究科４人、事業構想学研究科１６人、食産業学研究科１５人の計４８８人です。

式辞において、川上伸昭学長は入学生に対し、新型コロナウイルス感染症の影響で社会の急速なデジタル化が進んでいることに触れながら、改めて現実にある課題を捉え、直に接しながら実践的に行う教育が重要となると述べたうえで、「これからの基盤科目や専門科目を通して広汎な知識を身につけるとともに、生涯を通じて学び続けることのできる基礎力を蓄え、常に新しいことに挑戦する気概を持った人材となることを目指してもらいたい」とメッセージを送りました。

（学務課学生支援グループ）

令和３年度　入学記念事業

大学のシンボルマークを模った
校章バッジを新入生へ贈りました。

令和３年度入学　宮城大学入学者選抜試験実施状況

学群	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細				
				性別		出身校		
				男	女	県内	県外	その他
看護	95	2.9	101	6	95	63	38	0
事業構想	200	2.7	215	95	120	145	68	2
食産業	125	1.6	137	47	90	71	64	2
合計	420	2.4	453	148	305	279	170	4

※出身校は、卒業高校等所在地で分類（外国人留学生はその他に分類）

令和３年度入学　宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

研究科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細	
				性別	
				男	女
看護学研究科博士前期課程	10	1.3	3	0	3
看護学研究科博士後期課程	3	1.0	1	1	0
事業構想学研究科博士前期課程	20	1.1	14	8	6
事業構想学研究科博士後期課程	3	1.0	2	1	1
食産業学研究科博士前期課程	13	1.0	12	4	8
食産業学研究科博士後期課程	3	1.0	3	3	0
合計	52	1.1	35	17	18

令和３年４月　後援会総会　決議事項（事業・予算関係）

令和３年度　事業計画

	内容
総会	４月
理事会	年６回
その他の会議	学生代表との意見交換会（キャンパス毎） 会長副会長会議　年３回
学生会活動助成	執行部、新入生歓迎会、サークル、大学祭、ガーデンキャンパス
支援事業	資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品（校章ピンバッジ）贈呈
卒業記念事業	卒業生（学群生）へ記念品贈呈 卒業記念パーティー部費用助成
主催事業	ＭＹＵサポーターズデイ（キャンパス毎） 講演会
終身会員の集い	第３回
会報発行	第 57 号・第 58 号

※新型コロナウイルス感染症の影響などにより、事業計画を見直すことがあります。

会則の改正
総会の招集が困難な場合についての条項を新設した。（詳しくは、後援会ウェブサイトから令和３年４月 18 日施行の会則をご覧ください）

令和３年度　一般会計予算

	項目	予算額	備考
収入	会費	17,800,000	新入生・終身会員
	繰越金	10,304,211	
	計	28,104,211	
支出	事務費	2,870,000	人件費、通信費等
	会議費	450,000	費用弁償費等
	事業費	12,986,000	学生会活動助成等
	入学記念事業費	404,800	入学記念品（校章バッジ）
	卒業記念積立金	2,200,000	卒業生記念品
	記念事業等積立金	2,000,000	
	目的積立 R2	6,000,000	
	予備費	1,193,411	
	計	28,104,211	

令和３年度　特別会計予算

（卒業記念事業積立金）

	項目	予算額	備考
収入	積立金	2,200,000	入学生440人×5,000円（一般会計より）
	繰越金	8,237,074	
	計	10,437,074	
支出	事業費	2,205,000	学生への記念品　他
	卒業記念事業積立金	8,232,074	
	計	10,437,074	

（記念事業等積立金）

	項目	予算額	備考
収入	積立金	2,000,000	一般会計より
	他会計繰入金	6,000,000	
	繰越金	12,601,852	
	計	20,601,852	
支出	事業費	0	
	事務費	100,000	終身会員の集い
	記念事業等積立金	20,501,852	
	計	20,601,852	

令和２年度　卒業生の進路（主な進路実績）

看護学群

看護学類

●就職先一例（順不同）

〔看護師〕
東北大学病院/東北医科薬科大学病院/大崎市民病院/国立病院機構仙台医療センター /国立病院機構宮城病院/仙台市立病院/宮城県立がんセンター /宮城県立こども病院/JCHO仙台病院/石巻赤十字病院/仙台オープン病院/国見台病院/仙台赤十字病院/東北公済病院/東北福祉大学せんだんホスピタル/松田病院/東京歯科大学市川総合病院/横浜市立大学附属病院/順天堂大学医学部附属順天堂医院/昭和大学附属病院/神奈川県立こども医療センター /神奈川県立循環器呼吸器病センター /国立がん研究センター中央病院/国立国際医療研究センター病院/武蔵野赤十字病院/大阪回生病院/がん研究会有明病院/JA秋田厚生連/JCHO東京蒲田医療センター /セコム訪問看護ステーション/虎の門病院 など

〔保健師〕
宮城県/仙台市/大郷町/南三陸町/亘理町/青森市/大船渡市（岩手県）/みやぎ県南中核病院企業団みやぎ県南中核病院

〔養護教諭〕
宮城県/青森県/岩手県/山形県/栃木県/群馬県

●進学先一例（順不同）

日本赤十字看護大学大学院 修士課程国際保健助産学専攻/仙台医療センター附属仙台看護助産学校 助産学科/福島県立総合衛生学院 助産学科

事業構想学群

事業プランニング学類

●就職先一例（順不同）

ソフトバンク（株）/富士通（株）/（株）NTTデータ東北/（株）日立ソリューションズ東日本/（株）クリークアンドリバー /NECネクサソリューションズ（株）/（株）ドーン/（株）日本政策投資銀行/（株）七十七銀行/あいおいニッセイ同和損害保険（株）/日本生命保険相互会社/イオンリテール（株）/キヤノンマーケティングジャパン（株）/カメイ（株）/（株）クリエイトエスディー /（株）マクロミル/（株）フォーバル/（株）マイナビ/アイリスオーヤマ（株）/（株）アイチコーポレーション/日本冶金工業（株）/仙台国税局/宮城県/（株）リンクアンドモチベーション/デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム（株）/太平電業（株）/東洋建設（株）/（株）NIPPO/東北電力（株）/（株）トーシンパートナーズ/（株）近畿日本ツーリスト東北

●進学先一例（順不同）

宮城大学大学院事業構想学研究科

地域創生学類

●就職先一例（順不同）

(株)NTTデータ東北/(株)NTT東日本-東北/(株)富士通マーケティング/(株)東京商工リサーチ/日本システム技術(株)/パーソルプロセス&テクノロジー（株)/(株)OSK/イオンリテール(株)/JKホールディングス(株)/(株)ヨドバシカメラ/みやぎ生活協同組合/カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)/宮城県商工会連合会/宮城県/仙台市/栗原市/(株)七十七銀行/(株)仙台銀行/宮城県信用保証協会/明治安田生命保険相互会社/東日本旅客鉄道(株)/三陸運輸(株)/三菱地所リアルエステートサービス(株)/積水ハウス不動産東北(株)/(株)旭ブレインズ/東北電力(株)/全国農業協同組合連合会宮城県支部/(株)川本製作所

●進学先一例（順不同）

宮城大学大学院事業構想学研究科

価値創造デザイン学類

●就職先一例（順不同）

NTT東日本グループ（株）/（株）日立ソリューションズ東日本/富士ソフト（株）/東北放送（株）/東北インフォメーション・システムズ（株）/（株）メンバーズ/日本文教出版（株）/積水ハウス（株）/（株）長谷工コーポレーション/（株）西松建設/仙建工業（株）/高砂熱学工業（株）/トヨタ自動車東日本（株）/アルプスアルパイン（株）/北日本電線（株）/（株）マクロミル/（株）コマデン/大和電設工業（株）/（株）サンゲツ/（株）ツルハ/さが美グループホールディングス（株）/（株）七十七銀行/（株）岩手銀行/（株）青森銀行/（株）横河ブリッジホールディングス/（株）BWORKS/セキスイハイム東北（株）/一般社団法人宮城保健企画つばさ薬局/（株）フーレイ/東北電力（株）/東日本旅客鉄道（株）/仙台市/（株）RUSH

●進学先一例（順不同）

宮城大学大学院事業構想学研究科／九州大学大学院

食産業学群

食資源開発学類

●就職先一例（順不同）

青葉化成（株）/イオンリテール（株）/（株）コメリ/（株）ドトールコーヒー /東日本フード（株）/（株）やまや/（株）ライフフーズ/伊藤ハムデイリー（株）/井村屋グループ（株）/キユーピー（株）/トヨタ自動車東日本（株）/丸美屋食品工業（株）/理研ビタミン（株）/（株）北日本銀行/（株）七十七銀行/東北労働金庫/（株）LSIメディエンス/独立行政法人家畜改良センター /国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構/千葉県/東京都特別区/宮城県/山形県/（株）アグリテクノ/（株）埼玉種畜牧場/セキスイハイム東北（株）/全国大学生活協同組合連合会/全国農業協同組合連合会新潟県本部/（株）アイティ・コミュニケーションズ/（株）シンカーミクセル/東日本旅客鉄道（株）/日本ケンタッキー・フライド・チキン（株）/（株）ファクトリージャパングループ

●進学先一覧（順不同）

宮城大学大学院食産業学研究科

フードマネジメント学類

●就職先一例（順不同）

アイリスオーヤマ（株）/伊藤ハムデイリー（株）/日本食研ホールディングス（株）/亀田製菓（株）/（株）でん六/不二製油（株）/（株）マルハニチロリテールサービス/国分東北（株）/（株）ヨークベニマル/伊藤ハムミート販売東（株）/（株）日本アクセス/東日本フード（株）/（株）モスフードサービス/（株）ロック・フィールド/（株）NTTファシリティーズ東北/（株）システムネットワーク/とちぎコープ生活協同組合/みやぎ生活協同組合/JR東日本東北総合サービス（株）/（株）日本微生物研究所/エームサービス（株）/秋田県/塩竈市/スターツコーポレーション（株）/（株）フーレイ

●進学先一覧（順不同）

宮城大学大学院食産業学研究科

令和２年度　卒業記念事業

卒業生へ
記念品（浸透印とボールペン）を贈呈いたしました。

令和２年度
宮城大学卒業証書・学位記授与式

令和3年3月19日、令和2年度宮城大学卒業証書・学位記授与式が大和キャンパス講堂にて行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、式典の参加は卒業生･修了生のみとし、学群・研究科により時間帯を分けた2部構成で実施されました。式典の様子は、来場できないご家族向けに、インターネットで同時配信されました。

例年とは異なる状況の中、大学改革以来初めての卒業を迎える『学群』の卒業生395名を含む、444名が卒業･修了を迎えました。

式辞において、川上伸昭学長より「東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などの災害に向き合い、乗り越え、高いレジリエンスを持つ社会・持続的な社会を作るという目標達成のため、これまで得てきた知識と経験をもとに、自信を持って、大いに力量を発揮してほしい。」とエールが送られ、「大学から旅立つ今日が、生涯続く学びの入り口だ。」として、卒業・修了後も大学が寄り添い、必要な時に支援をしていきたいとメッセージが送られました。

（学務課学生支援グループ）

令和２年度学生表彰

在学中に研究活動、課外活動、社会活動、学業において顕著な成果をおさめた学生に対して、学長賞、学長奨励賞が贈られました。今回は、個人１４人と３団体が受賞しました。

学長賞

ー課外活動において、特に顕著な成果をあげたものー

●鈴木優研究室　Rolly Rolly制作チーム（任意団体）
2019アジアデジタルアート大賞展FUKUOKAの一般カテゴリー・エンターテインメント（産業応用）部門において入賞

●宮城大学　棚橋 葵・遠藤 慈・菊池 達也・工藤 沙良（任意団体）
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020において学生アイデア部門優秀賞を受賞

ー学業において、特に顕著な成績を修めたものー

●柳沼　朋子（看護学群　4年）
●髙橋　花織（事業構想学群　4年）
●加藤　彩（事業構想学群　4年）
●竹中　慶香（食産業学群　4年）

学長奨励賞

ー研究活動において、顕著な成果をあげたものー

●佐藤　雪音（看護学部　4年）
●八嶋　美咲（看護学群　4年）
基礎研究の成果をまとめた論文がAllergy, Asthma & Clinical Immunologyに受理されました。

ー課外活動において、顕著な成果をあげたものー

●宮城大学事業構想学群　佐々木秀之研究室（任意団体）
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2020において企業賞（東洋ワークGr.賞）を受賞

●砂口　綾香（食産業学群　3年）
「私の食品ロス削減スローガン&フォトコンテスト」において入選

ー社会活動において、顕著な成果をあげたものー

●阿部　遥菜（看護学群　4年）
●三浦　七海（看護学群　4年）
●小田部　真珠（看護学群　4年）
●小野　さくら（看護学群　4年）
●長野　杏耶（看護学群　4年）
●畠山　なつみ（看護学群　4年）
●八巻　理央（看護学群　4年）
みやぎ絆むすび隊の再興と被災地支援の継承に貢献

表彰された皆様、おめでとうございました。
※学年は、令和２年度の学年で掲載しております

学びの成果

コロナ禍においても実践力獲得を目指した看護学実習の工夫と成果

看護学群実習ワーキンググループ長　出貝裕子

新型コロナウイルス感染症拡大により、例年通りの看護学実習を受け入れるのが難しくなった実習施設もありました。各実習科目では、病院や施設等の現場で学べる機会が限定される中、実践力獲得を目指して取り組んできましたので一部を紹介します。

老年看護学実習では、INTO特養[*1]というシミュレーションを行いました。老年期に多くの方が体験すること、例えば病気を発症したり、大切な人を喪失したりすることを疑似体験することで、高齢者理解を図りました。他のシミュレーションでは、ナーシングラボに病室を想定した環境を設定し、模擬患者に対して状況に適した看護を提供する実習を行いました。例えば、乳がんで手術した患者さんの回復を促進するために離床を促す支援をしたり、あるいは子どもが手術のために入院した設定で、子どもの発達段階に合わせて手術の説明をしたり、手術室へ送り出したり、実際に入院中に起こりうることを想定して実践しました。模擬患者・家族から想定していない反応があるため、臨機応変に対応しなければなりませんので、学内ではあっても緊張感があります。そして実施後の振り返りで、自分と模擬患者の言動の意味を考え、課題を見出し、次の実践に活かす対策を考えます。この繰り返しによって、多様な状況にある対象者にそった看護を提供する能力を養ってきました。

▲高齢者疑似体験をしながら食事で介助を受ける経験

また、実習施設の看護職の方々にも多大なご協力をいただき、オンラインで学内と実習施設をつなぎ、カンファレンスを開催して実践的な指導をしてもらうこともありました。

このように、学内実習と病院等の臨地実習を組み合わせ、統合することで、例年同様の実習目標が達成できたと考えています。学生の皆さんも限られた臨地での実習で精一杯学びたいという意欲が高くなっていたように感じています。予想できない事態の中でも、できることを探索し、より望ましい状況を目指して、今後も学生の皆さんとともにチャレンジしていきたいと考えています。

*1　INTO特養：人生ゲームを模して、特養に入居する高齢者の身体的・社会的・心理的プロセスの体験ができる新しい学内実習を開発

基盤教育群の授業「社会の中で生きる」の中で講義された、宮城県消費生活センターの方から「学生がトラブルに巻き込まれないために知っておいてほしいこと」の一部についてご寄稿いただきました。

「成年年齢引き下げによる、若者の消費者トラブル」
～　狙われる！？18歳・19歳　～

民法改正により、2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。

成年となることにより、親の同意を得ずに自分の意思で様々な契約を自由に締結できるようになる一方で、これまで若者の消費者トラブルにおける「最大の防波堤」と呼ばれてきた「未成年者取消権」が行使できなくなるため、成年になって間もない学生が、トラブルに巻き込まれるおそれがあります。

例えば、軽い気持ちで「マルチ商法」に加入してしまった学生が、成年になって間もない友人や後輩を勧誘してしまい、キャンパス内で深刻なトラブルに発展するということも十分考えられます。

宮城県消費生活センターでは、成年年齢引き下げを見据え、「オトナ消費者」になるために知っておきたいことをわかりやすくまとめたパンフレットなどによる注意喚起のほか、弁護士や消費生活相談員を学校等に派遣し、消費者トラブルの事例などを交えながら、対処法や被害に遭わないための心構えなどについて、学生、教職員又は保護者を対象に講義を行っています。【いずれも無料】

◇消費者教育講師派遣事業
◇弁護士による消費生活法律授業
◇消費生活出前講座

【問い合せ先】
電話：022-211-2524
（宮城県消費生活・文化課相談啓発班）

消費者トラブルで困ったときや不安なときは、こちらにご相談ください。

◇宮城県消費生活センター（県庁1階）
相談専用電話：022-261-5161
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoubun/syohiseikatsu-center-index.html

◇消費者ホットライン
電話：188（い・や・や！）
※最寄りの市町村等の相談窓口をご案内する全国共通の３桁の電話番号）

新型コロナウイルス感染拡大防止の活動を紹介

こびっと隊、ただいま活動中

こびっと隊のマスコットキャラクター
“ころわちゃん”

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、看護学群では2020年12月、学生と教職員が協働して活動する“こびっと隊”を結成しました。こびっと隊は「広げよう！感染対策の輪－未来に向けた感染予防対策を看護学生から発信－」をスローガンに、大学での新型コロナウイルス感染拡大防止のために活動しています。感染予防啓発、学校感染対策、医療現場の３つのチームに分かれ、各チームが連携しながら活動しています。

（こびっと隊 隊長 看護学群准教授 三上千佳子）

Instagramを活用し情報を発信しています

Ⅰ．感染予防啓発チーム

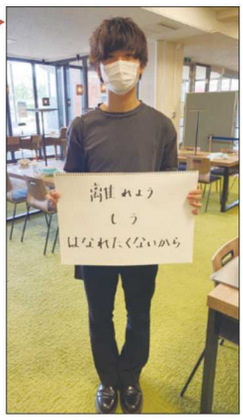
Instagram▶ MYUKOBITTO

このチームは、学生のCOVID-19ならびに感染予防対策への認識を高めることを活動目標としています。学生のCOVID-19と感染予防対策への認識調査や、TwitterやInstagramを開設し情報発信を行ってきました。そして、SNSを活用し、学生の意見や質問を募り、それらに寄り添った感染予防対策を検討しています。これからも、学校感染対策チームや医療現場チームの活動や感染予防の輪を広げられるようなメッセージを発信していきます。COVID-19によって、生活への制限や感染予防対策が求められるようになり、感染予防に対して疲れを感じる学生やCOVID-19への危機感が薄くなっている学生もいると思います。自分自身のこれまでの頑張りを認めつつ、自身の感染対策を見直し、もうひと踏ん張り頑張っていきたいと思います。

（看護学群３年　佐々木　美空）

Ⅱ．学校感染対策チーム

動画作成中の一場面



宮城大学こびっと隊動画 検索

このチームは、学生間の相互作用を活用し、学生による主体的な感染予防行動を促すことを活動目標としています。講義前に机を消毒することを呼びかけ、学生の感染予防行動を促すことや、感染予防行動に関する動画の作成による啓発活動を行ってきました。現在は、「離れよう、もうはなされたくないから」をスローガンとした感染予防啓発動画の撮影に取り組んでいます。こびっと隊として活動し始めて半年が経ちましたが、学生にはコロナ禍での生活に「慣れ」が生じているように感じられます。今年度初めは学生の主体性に基づいた感染予防行動を期待していましたが、現在は「慣れ」により感染予防行動がとれていない場面もみられるようになってきたと感じます。やらなくても大丈夫といった認識が生まれはじめているのが危惧されます。私はここに「主体性」を引き出すことの難しさを感じています。感染予防行動を上手く実施できない学生をどう巻き込んでいくかが今後の課題であり、感染予防行動が当たり前という認識が全体に広がるような活動を目指していきたいと考えています。

（看護学群３年　笹ヶ瀬　侑佑）

Ⅲ．医療現場チーム

Twitter▶

宮城県の感染者数を発信しています

このチームは、医療現場の現状について、そこで働く方々の苦悩を知ること、そして医療現場の逼迫が人々にどのような影響を与えるかを知り、学生に発信することを活動目標としています。これまで、学内外の勉強会に参加することや、宮城県の感染者数をSNSで発信する活動を行ってきました。こびっと隊の隊員である私たちが、医療現場に関するリアルな情報を得る必要があるのですが、その情報収集に難航しています。今は、医療現場の方の声を聴くためのインタビューの準備をしているところです。そして、自分たちなりに集めた情報を少しでも馴染みやすい形に整え、SNSなどを駆使して学生と共有しています。これからもより多くの学生が、主体的に感染予防行動をとる動機づけになれるような活動をしたいと思っています。皆で助け合って乗り越えていきたいと思います！

（看護学群３年　千葉　菜月実）

column

宮城大学での水産研究（上）

クローバーウニの誕生

食産業学群助教　片山　亜優

食産業学群に2017年度より水産分野が新しく加わった。2017年に着任した私であったが、山の上にある太白キャンパスで何ができるだろうと不安に思いつつ、研究をスタートした。ちょうど着任した時期に磯焼け対策としてウニの駆除の取り組みが全国で行われていた。海藻がほぼなくなってしまった磯焼け海域に生息するウニは可食部である生殖巣がほぼなく、商品価値がない。そのため、駆除したウニは廃棄物となってしまう。この駆除ウニの有効利用が各地で課題となっていた。

私はさまざまな水棲生物が何を餌としているのかというテーマに取り組んできた。学生時代よりヤマトシジミが何を食べているのかという課題に取り組んでおり、その中でもヤマトシジミが陸上植物を消化、吸収できる可能性について明らかにしてきた。水の中に生息している生き物の中にも、セルロースを分解できる種が多く存在する。ヤマトシジミも分解できる種であり、ウニもそうである。特にウニは雑食性であり、魚肉から陸上植物まで様々なものを餌として利用できる。ヤマトシジミの研究により、窒素を多く含む陸上植物を与えると成長が良いことはわかっており、ウニにも窒素を多く含むマメ科植物を与えれば身入りが良くなるのではないかと考えた。そこで、ウニにクローバーを与えてみようという試験を九州大学の栗田先生と一緒にスタートした。最初は半信半疑であったが、ウニはクローバーを良く食べ、身入りの改善に成功した。さらに生殖巣の色も良くなり大成功であった。多くのメディアにも取り上げて頂き、現在は「クローバーウニ」の事業化に向けて取り組んでいる。

太白キャンパスで海の生物を飼育できるのかと疑問を持つ方もいるだろうが、現在はウニだけでなく、タコやカニ、ナマコなど多くの生物の飼育が可能である。水棲生物が好きな方は、是非とも水産実験棟の見学にお越し頂きたい。

▲太白キャンパス　水産実験棟にて。

片山（かたやま）　亜優（あゆ）

東北大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。専門は水産増殖学。2017年より現職。

絆 No.26

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。今回は卒業生の父母で、6年間後援会の理事を務められた福士明嘉さんです。学生へ向けたエール。学生に対する親の接し方。そして理事時代の活動の思い出をお寄せいただきました。

バランス感覚と強い志

前後援会理事　福士　明嘉（卒業生父母）

◆**人生を豊かに生きるには「智情意」のバランスが重要**

夏目漱石の「草枕」の冒頭にも、「智情意」について触れている部分があります。

「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ、情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とにかく人の世は住みにくい。」

智性、感情、意志の3つをバランスさせることが大切です。そうすることで穏やかで豊かな心を保つことができ、志高く生きていくことができます。

◆**約5000年前の古代エジプト**

古代エジプトの遺跡の壁画には、「最近の若者はなっていない」との言葉があり、哲学者のプラトンも「最近の若者は」と言って嘆いていたと伝えられています。

・自分の経験をもとに物事を解釈するからです。

・本当に筋が通っていて、本質的なことを教えてくれる先輩の話にだけ耳を傾ければよいと思います。自信をもって自分が思うとおりに行動すべきです。

・過干渉・過保護はしない、「精神の自立」や「生活の自立」を見守る。そして「経済的自立」ができるように応援する。これが大学生を持つ親としての接し方だと思います。

◆**「公務員試験対策」支援**

後援会20周年記念事業の一環として、実施費用特別支援。

627冊の公務員試験対策図書の購入

3学部・学群ごとの試験対策セミナーを年間で計画し、随時実施。

おかげさまで子供は公務員試験に合格。

◆**「親のためのキャリア教育セミナー」後援会主催で開催2016年**

講師に宮城大学特任准教授（当時）の宮崎良徳先生を招き、親として子の進路への向き合い方を学ぶセミナーを実施。テーマは「学生の人生設計作りを後押しする親の関わり方」。

別の大学に通っている息子が4年の時、就活で、「内定を出すから他の会社を受けないように」と言われた事がありました。それは「オワハラ」で対処の仕方を宮崎先生に質問すると懇切丁寧に対策を教えてくれました。

◆**後援会理事を務めた6年間。（2015～2020年）**

理事初年度、角田後援会会長とともに、子供との話題、接点を多くすることにより、大学、学生をよく理解し、親の目線で学生を見つめなおし支援する事が目的でした。

学生時代は、学究はもとより仲間づくりでもあります。

夢と希望を将来に向けて大きくジャンプ！

▲娘たちの卒業写真

宮城大学後援会報 vol.57 | 令和３年８月31日発行 | 編集・発行 宮城大学後援会事務局

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑１番地１
公立大学法人宮城大学 事務局 企画・入試課内
TEL：022(377)8381
FAX：022(377)8282
E-mail：kouenkai@myu.ac.jp
URL：https://www.myu.ac.jp/campus/support/

教員からの一言

「よそ者」ちがい

看護学群　教授　**大塚 眞理子**

宮城大学教員宿舎の駐車場には、全国各地のナンバープレートが並んでいます。宮城、仙台はもとより、岩手、青森、札幌、柏、練馬、水戸、名古屋、神戸など北から南まで様々です。かくいう私の車も大宮ナンバーです。つまり、私は宮城大学の教員としては、東北圏外、宮城県外から来たよそ者なのです。

私は、東京で生まれ育ち（江戸っ子だい！？）、大学生の時は千葉で暮らし、卒業して東京の病院で3年ほど働きましたが、看護教員としては埼玉で約30年働いてきました。人生の大半を1都2県の首都圏で暮らしてきたのです。そして、宮城大学に着任して6年目になります。

まちづくりや地域活動の活性化には、「若者・ばか者・よそ者」の3つの者が大切とよく言われます。「若者」とは、高齢化が進んでいる地域には不可欠で、積極的に活動に参加し実行力のある人のことです。「ばか者」は、大胆なアイデアを出したり、活動の雰囲気を盛り上げてくれる人です。「よそ者」は、他の地域の情報やこの地域の状況を客観的に分析して活動する人です。宮城大学にとって、私は、「よそ者」になっているでしょうか。

先日、東京の看護系出版社から原稿を頼まれ、旧知の編集者と電話で話していると「宮城大学の大塚先生というイメージですよ、もう充分、宮城の人ですよ」と言われました。まあ、なんと嬉しいことでしょう！私は、うちの人になっているでしょうか。

▲老年看護学と専門職連携教育を専門としている大塚教授

令和３年度MYU キャンパスカレンダー

令和3年	
4月	
3日(土)	入学式
8日(木)	前期授業開始
18日(日)	**後援会総会**
5月	
1日(土)	開学記念日
8月	
5日(木)	夏季休業(～9/20)
12日(水)	教職員夏季休暇(～8/18)
9月	
4日(土)	**後援会主催事業　MYUサポーターズデイ(太白)**
13日(月)	入試日(大学院一期・一次)
15日(水)	卒業式・学位記授与式（9月卒業分）
18日(土)	**後援会主催事業　MYUサポーターズデイ(大和)**
21日(火)	後期授業開始
10月	
3日(日)	大学祭(太白) 予定　学内者のみでの開催
9日(土)	大学祭(大和) 予定　学内者のみでの開催
17日(日)	入試日(総合型選抜1次)
31日(日)	**後援会主催事業　有森裕子氏講演会**
11月	
13日(土)	入試日(総合型選抜2次～11/14)
12月	
4日(土)	入試日(帰国子女・社会人・外国人留学生)
25日(土)	冬季休業(～1/5)
29日(水)	教職員冬季休業(～1/3)
令和4年	
1月	
15日(土)	大学入学共通テスト(～1/16)
22日(土)	入試日(大学院二期・二次)
2月	
6日(日)	入試日(学校推薦型選抜)
25日(金)	入試日(一般選抜前期 ～2/26)
3月	
12日(土)	入試日(一般選抜後期 ～3/13)
19日(土)	卒業式・学位記授与式

上記スケジュールは8月10日時点の情報です。

お問い合わせ先	大和キャンパス（看護・事業構想）	太白キャンパス（食産業）
教務関係［カリキュラム・シラバス等］	kyoumu@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
学生生活関係	gakusei@myu.ac.jp	f-kyoumu@myu.ac.jp
キャリア開発室［就職関係］	careerdev@myu.ac.jp	f-career@myu.ac.jp
後援会事務局	myu_kouenkai@myu.ac.jp	

お問い合わせの際は、ご子女の「お名前」「所属学群」「学籍番号」もあわせてお知らせください。

令和3年度主催事業「講演会」

2年ぶりの講演会は、令和3年10月31日(日)有森裕子氏をお招きし開催いたします。

「夢はかなう～あきらめない心をもって～」

オリンピック開催後の講演会となります。どのようなお話をしてくださるのか、今から大変楽しみです。申込方法につきましては、9月下旬頃からご案内します。

編集後記

２年ぶりの卒業式はお天気に恵まれ、入学式はちょっと早い桜の開花と重なった１日となりました。華やかな写真や、学生、先生方の日常の活躍をお伝えできたことがうれしい５７号となりました。ご協力くださいました皆さまに感謝を申し上げます。（Ｙｕ）